



小林 秀彦
(日本共産党)

イオン出店

質問 イオン出店の問題については、市民との対話を拒み、口にシャッターを降ろしたままである。市民とともにつくり上げていく協働のまちづくりどころか、偏った政治ではないか。

答弁 これまでも申し上げてきたとおり、対話を大切にし、市民とともに汗して、希望ある将来への道筋を築いていくことを基本姿勢として市政運営に当たっている。このことは、(仮称)イオン新能代ショッピングセンター出店計画についても同様であり、これまでに開催した説明会等を通して、市としては、十分に説明責任を果たしてきたと考えているし、できるだけの対話をしてきたと思っている。

小林議員のその他の質問事項
○総合計画(案)の農業政策
○能代産業廃棄物処理センター問題

福祉灯油事業の検討

質問 収入はふえず負担は重くなるばかりなのに、石油製品の異常な値上げが家計を直撃している。そこで低所得者世帯を対象に、冬期間の暖房用に使用する灯油の一部を支給する福祉灯油事業を実施できないものか。

答弁 原油価格の高騰により市民生活が圧迫されていることは、まことに憂慮すべき事態である。国では、この原油価格の高騰を受け緊急対策を早急に検討し、取りまとめることとしており、その中には消費者向けの対策として、北海道内で実施されている福祉灯油制度を参考に、年収が一定以下の人を対象に国や自治体が灯油代の一部を補助する案を検討し、実施することになった。市では、国の政策を見きわめた上で、事業実施について検討していきたい。



質問 がんは1981年以降、日本人の死亡原因の第1位を占めている。がんを負けない社会構築のため、がん検診の受診率を上げる対策をとるべきである。また、ドクターヘリは救命率を高め、医師不足対策にも有効。ヘリポートをつくり導入を進めるべきでないか。

答弁 がん検診の受診率の向上については、未受診者の受診勧奨に努め、検診受診者への継続受診の必要性や各家庭への検診案内の配布、健康教育等で検診による早期発見の必要性について啓発し、受診率の向上を目指したい。ヘリポートの設置は、対象となる病院、利用目的、利用頻度、離着陸帯の大きさ、夜間照明等の設置要件など課題が多い。救急・救助活動等は、県の消防防災ヘリの出動を要請することになるので、指定を受けている落合三面球場、東能代河川緑地、薄井米代川河川敷グラウンド等6カ所の臨時離着陸場を利用していききたい。



渡辺 優子
(公明党)

地域医療

多重債務問題

質問 昨年12月の貸金業法の改正を受けて、新たな多重債務者の発生に對して歯止めがかかったものの、本市の相談件数は平成18年度64件で17年度比178・3%増となっている。相談窓口を充実させるなど行政が積極的に関与し、苦しむ市民を救済すべきでないか。

答弁 本市は市民課に消費生活相談窓口を設け、相談員を配置して、各種の消費生活相談に対応している。多重債務関連相談者に対しては、その方に適した債務整理の方法の説明、法律相談の申し込み方や書類の整え方等をアドバイスし、その上で弁護士や司法書士、裁判所などを紹介しており、ほとんどの方の場合、状況の改善が図られていると認識している。また、税の徴収担当や市営住宅保育料などの各種使用料担当、福祉関係部門等が連携を図り、日常業務の中で多重債務の悩みを発見した場合には、相談窓口へと誘導するような取り組みも考えられるので、そうした取り組みにも努めたい。

渡辺議員のその他の質問事項
○5歳児健診の推進
○観光振興